

浜工生大学の講義体験

静岡文化芸術大 デザイン産業規模学ぶ

県立浜松工業高(浜松市北区)のプロダクトデザインコースの3年生6人が17日、中区の静岡文化芸術大で大きな授業を体験した。両校の高大連携事業の一環。



真剣な表情で講義を受ける高校生

浜松市中区の静岡文化芸術大

同大デザイン学部の黒田宏治教授が、デザイン産業の規模について全国の事業所数や従業員数、デザイナーの人数などの統計を示しながら解説した。産業別ではファッション関連や広告業のデザイナーが減っている一方、情報通信業のデザイナーが増加している現状も説明した。

天野千映梨さん(17)は「デザイン産業について最新の情報を知った。将来、どう進んでいこうか考える参考になった」と話した。(浜松総局・鈴木侑季)

